

ENGINEERED NANO MEDICINE

ナノテクノロジーが拓く未来医療

2020 1.23 木 日本橋ライフサイエンスハブ
曜日 12:30-17:30 受付開始 12:00
(16:30 - 17:30 ネットワーキングレセプション)

DRUG DELIVERY SYSTEMS AND PLATFORMS

LINK-J は、米国 カリフォルニア大学 サンディエゴ校 (the University of California San Diego) と MOU を締結しており、様々なコラボレーションを行っています。

毎年 UC San Diego のトップ研究者に登壇いただく LINK-J / UC San Diego ライフサイエンスシンポジウムは、2020 年に第 3 回目を開催します。

今回のテーマは「ナノメディシン」、診断や治療にナノ粒子を用いるこの分野にスポットを当てます。

ドラッグデリバリーシステム (DDS) とそのプラットフォームについて、日米の研究者がそれぞれの研究と産業化の取り組みを解説します。

登壇者



リャンファン ジャン カリフォルニア大学サンディエゴ校、ナノ工学、生物工学および化学工学、教授

清華 (Tsinghua) 大学で化学工学の B.E. と M.S. を取得。2006 年にイリノイ大学アーバナシャンペーン校でグラニク教授の下、化学および生体分子工学の博士号を取得した。2006 年から 2008 年にかけて、MIT のランガー教授研究室にてポストドク研究員。2008 年からカリフォルニア大学サンディエゴ校のナノ工学科助教授、2014 年から教授。ジャン博士はバイオメディックナノ医療に焦点を当てており、なかでも特に、感染症・癌治療に使用するドラッグデリバリーシステム (DDS)、解毒、およびワクチン接種のためのナノ構造バイオ材料の作成と評価に取り組んでいる。

ジャン博士は 197 の査読付き論文を発表し、96 の発行済み / 保留中の特許を保持している。



片岡 一則 公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター センター長 兼 研究統括 / 東京大学未来ビジョン研究センター (IF) 特任教授

東京大学工学部合成化学科卒業、同大学大学院工学系研究科博士課程修了 工学博士。東京女子医科大学助手。同講師、助教授を経て、東京理科大学基礎工学部助教授、同教授。1998 年東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻教授。2004 年東京大学大学院医学系研究科附属疾患生命工学センター教授 (兼任)。2016 年より、東京大学名誉教授、公益財団法人川崎市産業振興財団副理事長 ナノ医療イノベーションセンター・センター長。米国ノースカロライナ大学薬学部教授 (非常勤)。この間、パリ大学客員教授 (1992 年、1996 年)、ミュンヘン大学客員教授 (2008 年)、浙江大学客員教授 (2010 年)、物質・材料研究機構生体材料研究センター・ディレクター (兼任、2001 ~ 2004 年) 等を務める。日本学術会議会員 (第 3 部)。米国工学会アカデミー (United States National Academy of Engineering) 外国人会員。米国発明家アカデミー (National Academy of Inventors) フェロー。



宮田 完二郎 東京大学 大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻 准教授

東京大学 工学部 マテリアル工学科卒業、同大学大学院工学系研究科博士課程修了 工学博士。東京大学 大学院工学系研究科・日本学術振興会特別研究員 (DC2) を経て、同研究科 バイオエンジニアリング専攻 特任助手、特任助教 (2006-2009)。2009 年より東京大学 大学院医学系研究科 附属疾患生命工学センター 助教、2013 年 - 2017 年准教授。2016 年より同大学大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻 准教授。



エスター クウォン カリフォルニア大学サンディエゴ校 ナノスケールバイオエンジニアリング、助教授

カリフォルニア大学バークレー校にて、生物工学の B.S. ならびに分子・細胞生物学の B.A. を取得。ワシントン大学のバン教授の下で、治療用核酸輸送のための高分子ナノ粒子を設計しバイオエンジニアリングの博士号を取得。その後マサチューセッツ工科大学の Bhatia 研究室でポストドク研究を行った。UCSD の生物工学部にあるクウォン研究室では、中枢神経系疾患用のナノスケール技術、診断、および治療のエンジニアリングを研究している。クウォン博士は、pre- and post-doctoral NIH Ruth L. Kirschstein National Research Service Awards の pre-doctoral 部門ならびに post-doctoral 部門、NIH Director's New Innovator award を受賞している。



木村 廣道 公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター プロジェクト統括 / 東京大学未来ビジョン研究センター (IF) 特任教授 / (株) ファストラックイニシアティブ 代表取締役 CEO 兼 マネージングパートナー

東京大学薬学部卒業。同大学大学院薬学系研究科博士課程修了 薬学博士。米国スタンフォード大学大学院ビジネススクール修了 MBA。協和発酵、モルガン銀行を経て、アマチュムファルマンバイオテック (株) 代表取締役社長、日本モンサント (株) 代表取締役社長を歴任。2002 年より東京大学大学院薬学系研究科ファーマコビジネス・イノベーション教室特任教授。2016 年 4 月より客員教授。2018 年 11 月より東京大学政策ビジョン研究センター / ライフスタイルデザイン研究ユニット特任教授。2013 年より文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)」拠点 COINS プロジェクト統括。2000 年より (株) ライフサイエンスマネジメント (現: (株) FI イノベーションズ) 代表取締役、2004 年より (株) ファストラックイニシアティブ代表取締役、2011 年より一般社団法人医療産業イノベーション機構理事長。経済同友会幹事、日本スタンフォード協会理事。

プログラム (日英 同時通訳有)

12:00	受付開始
12:30 - 12:40	開会挨拶 和賀 三和子氏 (UC San Diego 国際アウトリーチ ディレクター) 曾山 明彦 (LINKJ CEO 兼理事)
12:40 - 1:25	リャンファン ジャン先生 "細胞膜のナノコーティング技術の発見と翻訳"
1:25 - 1:55	片岡 一則先生 "難治性疾患のスマート診断と標的治療のための 自己組織化超分子ナノシステム"
1:55 - 2:05	休憩
2:05 - 2:35	宮田 完二郎先生 "生体バリアを突破するナノ医薬品の設計"
2:35 - 3:05	エスター クウォン先生 "宿主生物学と相互作用を示すバイオインスパ イアード・ナノ医薬品"
3:05 - 3:35	木村 廣道先生 "進む殿町の社会実験：次世代エコシステムの 行方"
3:35 - 3:45	休憩
3:45 - 4:30	パネルディスカッション
4:30 - 5:30	ネットワーキング・レセプション

参加申し込み

下記 peatix サイトよりお申し込みください:

<https://ucsd2020.peatix.com>



参加費

LINK-J 会員 ¥1,000 / 非会員 ¥5,000
学生 無料 (受付にて学生証の提示が必要です)
※ LINK-J 会員・サポーターは割引コードをお問い合わせください

会場

日本橋ライフサイエンスハブ
(室町ちばぎん三井ビルディング 8 階)
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-5-5



一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン

TEL:03-3241-4911 (平日 9:00-17:00) E-mail:contact@link-j.org web:www.link-j.org